



在京古高同窓会会報
第44号
〒352-0031
埼玉県新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
☎ (042) 494-1598
FAX (042) 494-1598
URL http://www1.ttcn.ne.jp/~furuko
Email zaikyo-furuko@mx5.ttcn.ne.jp
発行責任: 曾根 研一
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

新年のご挨拶

会長 高橋 俊裕



古高同窓生の皆様、あけましておめでとうございます。本年もお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はリズム感のない1年だったように思います。夏の長雨、夏から秋へ、秋から冬へと確かな手答えもなく過ぎてしまいました。

8月の総選挙では長年の自民党に愛想を尽かした国民が民主党政権を選択。大いなる期待感をもってその行方を見守ってきました。

が、部分的な新鮮さは出せても、この国のビジョンを示せないばかりか、目先のチマチマしたことへの拘り、問答無用の言動など、一抹のあやうさを感じずにはいら

れません。テンポの合わない政治もリズム感喪失の要因であると思います。とはいえ初めての政権党、もう少しじっくりと様子を見たいと思います。

さて、昨年8月本部同窓会に出

席して参りました。渡邊会長の熱意によって会費納入者も1300名以上と大いに活発化してきたと思います。

しかし、在京同窓会は会費納入、本部・支部のあり方など未解決問題もあり、やや距離をおいて参りました。

古高同窓会は本年100周年を迎えます。これを機に、本部・在京の関係をすっきりさせて参りたいと思います。

また、去る11月12・13日、ふるさと探訪ツアー第2弾が実施されました。総勢27名(初参加12名)で盛会のうちに無事終わることができました。

本部初め大崎市、加美町など大変お世話になりました。紙上を借りて関係者皆様に厚く御礼申し上げます。

恒例の母校訪問時、佐々城校長からうれしいニュースを伺いました。来年度から学区がなくなり全県一学区となりますが、古高の応募倍率は1・24倍となったそうです。仙北の雄としての古高の復活も実現しつつあるようです。

最後に、来る1月30日(土)は旧古川市内四校関東同窓会が上野精養軒で開催されます。多数の方々のご参加を期待しております。

今年も皆様方のご多幸をお祈りして新年のご挨拶いたします。

変革の時代に

さらなる進化を

古川高等学校長

佐々城 洋



新年明けましておめでとうございます。在京古高同窓会の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中に賜りましたご厚情に対し改めて深く感謝申し上げます。

昨年は吹奏楽部が18年ぶりに東北大大会出場を果たすなど、生徒たちは各方面に大きな成果を残してくれました。

新型インフルエンザの流行により、1・2年の3クラスで学級閉鎖の措置をとらざるを得ませんでした。したが、この点を除けば充実した教育活動を展開できたと考えております。

さて、今年宮城県の高校教育界は大きな変革の時を迎えます。仙台一、宮二女、宮三女は単独で、白石・白石女及び塩釜・塩釜女は統合の上それぞれ共学校へと移行し、順次進められてきた男女共学化が完成するとともに、高校入学者選抜においては全県一学区制が導入されます。

このような変化を踏まえ、昨年11月には例年より2ヶ月以上早い

時期に、第1回目の高校入試に係る予備調査が実施されました。この段階での志望状況は仙台市を中心とする中部地区にかなりの変動が見られたものの、大崎地区においては際立った変化はなく、本校の志願倍率は240名の定員に対して1・24倍という結果でした。

1月末の推薦入試及び第2回目の予備調査、一般入試の志望・出願状況が本校にとって望ましいものになることを期待しているところです。

大崎地区、そして古川高校を取り巻く教育環境は、高校入試をはじめとして今後いっそう厳しさを増していくことが予想されます。

しかし、今年は男女共学化5年間の成果を踏まえ、これまで以上に地域の俊秀が切磋琢磨する学校づくり、古高のさらなる進化を目指して邁進すると同時に、古高に対する理解と関心を一層高めるべく、様々な機会をとらえて情報発信に努めてまいりる所存でございます。

赴任1年目の昨年は、7月の在京同窓会総会、11月のふるさと探訪ツアーをはじめ、各地の同窓会行事に参加させていただきました。が、いつまでも変わらぬ母校に対する熱い思いと同窓の強い絆に感激を覚えることの連続でありました。

同窓の皆様には、今後とも母校古高へのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、在京古高同窓会の益々のご発展と会員の皆様の一層のご活躍、ご健康をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

お知らせ

第17回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

【日 時】平成22年1月30日(土)
11:00~総会
11:45~映写会
*ビデオアルバム
「時をかける少年・少女」(古川編)
12:45~14:50懇親会

【会 場】上野精養軒 電話(3821-2181)
【会 費】8,000円

*私たち高校生時代の古川は、今どうなっているのでしょうか。思い出の街並みや公園は? 過去と現在の風景が重なり、懐かしい母校や古川を偲ぶことができると……。
制作・撮影:古川工業高校関東同窓会(担当幹事校)

【交通案内】JR上野駅公園口から徒歩5分



平成21年度
総会報告

平成21年度 定時総会開催

7月4日メルパルク東京
平成21年7月4日(土)午前11時半から芝公園の「メルパルク東京」において、今年度の定時総会を開催いたしました。

総会の部の司会は亀井編集長(S55年卒)が務め、校歌斉唱の指揮には、前年度に引き続き今回も、学生時代に合唱指揮を経験されている来賓の大崎市役所・松ヶ根典雄氏にお願いしました。

高橋会長の挨拶のあと、議長は4期連続で昭和39年卒の上野正司氏が務め、次の5つの議案について審議され、いずれも原案どおり承認可決されました。(4面参照)

〔第1号議案〕

平成20年度活動報告承認の件

〔議案説明〕曾根副会長

〔第2号議案〕

平成20年度決算報告承認及び監査報告の件

〔議案説明〕佐々木事務局長

〔第3号議案〕

平成21年度活動計画承認の件

〔議案説明〕大友副会長

〔第4号議案〕

平成21年度予算案承認の件

〔議案説明〕佐々木事務局長

〔第5号議案〕

会則一部改正案

〔議案説明〕春田副会長

〔第6号議案〕

会長の任期について、「2期まで」を「再任を妨げない」に改める。(第6条第1項)

役員選任案

〔議案説明〕春田副会長
副会長 門脇 健(S24年卒)



門脇 健(かどわき・たけし)氏
写真には、東大崎出身で昭和24年古高卒、昭和60年頃より在京同窓会に係わり(理事・幹事)、規約改正、会報「蜚雪」の創刊(昭和63年)、江戸・東京見て歩こう会(平成10年)、昨今の「ふるさと探訪ツアー」など、常に秀逸した企画力で同窓会を牽引してまいります。明治大学卒。日本水道新聞社社長・会長を経て現在、同社社友。趣味は歴史探訪、俳句、ゴルフ。在京ぎやろっば会(昭和23・24年卒)の世話人を務める等、常に精力的な活動をしておられます。

岩城光将・横山榮治両副会長を年度内に失ったこともあって、門脇健氏の副会長就任を役員会より提案・承認させていただきました。

議案審議のあと、渡邊同窓会長と新任の佐々木校長先生にご挨拶をいただきました。新たに実施された本部同窓会費の件、進学状況、来年度からは全ての県立高が共学化になると同時に全県一学区制の導入、さらに「古高から宝塚に入学」等の共学化ならではのホットな話題も紹介されました。

総会では初めて、これまでの「講演」を音楽に換えてみました。今回お願ひしたのは、昭和27年卒の鈴木芳郎氏のアコーデオン演奏でした。写真下右

時代に器楽演奏で3年連続東北代表に導くなど、各学校の課外事業で器楽演奏の指導を手がけられた方です。当日は「テネシーワルツ」や「誰



か故郷を想わず」等、お話しを交えながら馴染みの懐メロを演奏して下さいました。

鈴木さんは作曲も趣味の域を超え、愛唱歌から演歌まで多数の作品があり、旧古川市内四校の愛唱歌「四つ葉の仲間たち」も同氏の作曲です。

総会終了後は別室の宴会場で賑やかな宴となりましたが、ここでも鈴木さんのアコーデオンを伴奏に、うたごえ喫茶風に懐メロを斉唱して写真左に楽しい時間を過ごすごうございました。(曾根)



平成21年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

〔来賓5名〕

佐々城 洋 (学校長 仙台市出身) 渡邊 義之 (同窓会会長 昭34卒 東大崎出身) 高橋 亨 (同窓会副会長 昭23卒 古川出身)
大山 義男 (同窓会事務局長 昭56卒 岩出山出身) 松ヶ根 典雄 (伊藤大崎市長代理 昭51卒 田尻出身)

〔会員76名〕(カッコ内は出身地)

昭20	安部善次郎 (古川)	昭28	早坂 明久 (小野田)	昭30	佐藤 輝久 (荒雄)	昭31	熊谷 正俊 (古川)	昭33	福原 喬夫 (古川)	昭39	笹原 誠一 (古川)
	高橋 昭典 (古川)		渡邊 道雄 (鹿島台)		曾根 研一 (小野田)	昭32	佐藤 利美 (大崎)	昭34	穴戸 志智 (古川)	昭41	菅原 一務 (古川)
	前田浩五朗 (古川)	昭29	松本 慶蔵 (松山)		高橋 廣 (鳴子)		野田 清三 (古川)	昭35	岩崎 光任 (小田)	昭45	猪俣 正謙 (鳴子)
昭22	松本 慶蔵 (松山)		高橋 清亮 (富永)		平野 武 (長岡)	昭33	大友 正行 (松山)		佐々木武磨 (古川)	昭46	笠間 邦彦 (古川)
昭24	門脇 健 (東大崎)	昭30	高相原 相 (色麻)		正志 武 (高清水)		大山 隆志 (古川)	昭36	児玉 隆行 (古川)	昭47	相澤 春彦 (中新田)
昭26	角田 啓輔 (古川)		尾崎 光彦 (田尻)		横山 武 (松山)		齋藤 次郎 (小田)	昭37	千坂 孝夫 (古川)	昭51	工藤 春正 (古川)
昭27	跡部 太一 (古川)		門脇 喜代志 (東大崎)	昭31	渡辺 吉郎 (志田)		佐々木光一 (古川)	昭38	大曾根 昇 (古川)	昭53	鈴木 正時 (小田)
	大場 恒明 (古川)		門脇 敏明 (東大崎)		浅野 清 (鳴子)		鈴木 将夫 (三本木)		二郷 恭次 (古川)	昭55	早坂 正則 (小田)
	佐澤 正剛 (中新田)		岸 康男 (鳴子)		石堂 十六男 (長岡)		高橋 俊裕 (富永)	昭39	宮本 信夫 (宮崎)		浅野 正明 (小田)
	佐藤 清勝 (中新田)		岸 康男 (鳴子)		大内 正一 (中新田)		寺澤 一郎 (三本木)		上野 正司 (鳴子)		亀井 明 (小田)
	春田 紘輔 (古川)		佐々木 豊 (古川)		木船 清紀 (中新田)		野村 高義 (古川)		後藤 雅正 (宮崎)		
昭28	本田 惇 (古川)		佐藤 忠良 (三本木)								

税理士 青沼康男

(昭和19年卒)

〒108 東京都港区芝4-6-16 ライオンズ三田805-0014

TEL 03-3452-2004

FAX 03-5476-8006

内科・小児科 長井内科

院長 医学博士

長井弘策

〔昭和31年卒(高8回) 古川高校同窓会副会長〕

〒989-6154 大崎市古川三日町1-3-25 TEL 0229 (91) 1020



<第1号議案> 平成20年度 活動報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

<第3号議案> 平成21年度 活動計画案

平成21年4月1日～平成22年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成20年 5月18日(日)	在仙同窓会総会出席(横山副会長)	仙台エクセルホテル東急
5月24日(土)	会報「蛭雪41号」と総会案内発送	信陵会館
6月21日(土)	総会、講演会、懇親会 講演 戸島 潤氏(燕巣ぬまっくらぶ副理事長・事務局長) 演題「ラムサール条約と渡り鳥を活用した地域振興の可能性」	メルパルク東京
8月10日(日)	本部同窓会総会出席(高橋会長、曾根副会長)	大崎市グランド平成
11月5日(水)	「ふるさと探訪ツアー」	大崎市
11月6日(木)	〃 (本部5名、在仙4名、在京15+15同伴者2名、計26名出席)	〃
12月20日(土)	会報「蛭雪42号」と四校合同新年会案内発送	信陵会館
平成21年 1月31日(土)	「第16回 旧古川市内四校同窓会 新年の集い」開催 (幹事校・古高) (古高110名、黎明73名、古工37名、古学29名、四高来賓2名、計251名出席)	上野精養軒
3月1日(日)	古高卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式出席(曾根副会長)	古川高校

年月日	活動内容	場所
平成21年 5月30日(土)	会報「蛭雪43号」と総会案内発送	信陵会館
7月3日(土)	定時総会、懇親会 アコーディオン演奏 鈴木 芳郎氏	メルパルク東京
8月8日(土)	本部同窓会総会出席	大崎市「芙蓉閣」
11月12日(木)	ふるさと探訪ツアー	大崎市
11月13日(金)	〃	〃
12月19日(土)	会報「蛭雪44号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成22年 1月30日(土)	「第17回四校合同新年会」開催 (幹事校・古川工業高校同窓会関東支部)	上野精養軒
3月1日(月)	古川高校卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式(出席)	古川高校

- ◎役員会：信陵会館
 第1回 H.20年 5月24日(土) 17名(総会運営他)
 第2回 H.20年 10月 4日(土) 16名
 (在京・本部総会報告、42号会報発行内容他)
 第3回 H.20年 12月20日(土) 19名
 (「ふるさと探訪ツアー」報告、四校新年会準備他)
 第4回 H.21年 3月14日(土) 15名
 (四校新年会報告、定時総会準備他)
- ◎四校合同幹事会：東京文化会館会議室他
 第1回 H.20年10月31日(金)
 第2回 H.20年12月12日(金)
 第3回 H.21年 1月22日(木)
 第4回 H.21年 3月14日(土)
 古高出席者：春田 曾根 岩崎 佐々木(恭)

- ◎役員会：
 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員会を開催
 第1回定例5月30日開催：総会運営
- ◎四校合同幹事会：
 四校合同新年会(H22.1.30)にむけて、10月下旬から1月中旬までの間に3～4回開催する。
 古高出席者：春田 曾根 岩崎 佐々木(恭)

第2・4号議案 平成20年度決算／平成21年度予算

収入の部

科目	H20年度決算額	摘要	H21年度予算額
年会費	727,000	341名 363.5口 @2,000/355口	710,000
広告料	180,000	企業・個人広告	140,000
寄付・祝儀金	24,000	個人寄付	20,000
雑収入	2,571	預金利息	20,000
収入計	933,571		890,000
前期繰越金	2,815,387		2,162,950
合計	3,748,958		3,052,950

支出の部

科目	金額	摘要	金額
会議費	280,532	役員会資料代、総会費他	160,000
印刷費	531,255	会報、案内状、封筒他	510,000
事務用品費	50,831	文具、インクカートリッジ代他	40,000
事務所経費	70,680	信陵会館年間契約料他	60,000
通信費	213,068	電話、切手、はがき	220,000
慶弔費	134,500	東京蛭雪賞、香典他	100,000
旅費交通費	136,930	本部・在仙総会、卒業式等	120,000
活動強化費	71,283	ふるさと探訪ツアー	100,000
雑費	96,929	年会費振込手数料他	50,000
支出計	1,586,008		1,360,000
次期繰越金	2,162,950		1,692,950
合計	3,748,958		3,052,950

日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事 代表取締役
 株式会社 アクアバンドジャパン 代表取締役副社長

佐々木 光一路(昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
 -0035 第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
 電話 (3739) 2468
 F A X (3732) 7700
 HOT Line 090-3202-6393

東京、神奈川、埼玉でお仕事をお探しの方、人材をお探しの企業様!!
 人材派遣・人材紹介・人材育成の「パルススタッフグループ」にお任せ下さい。

 **パルススタッフ株式会社**

厚生労働大臣認可・人材派遣業 (一般13-300435)

代表取締役 渡邊 道雄
 会長

S28年卒(鹿島台町)

本社 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-4-5

ロータリービル6F

TEL 03-5364-5251 FAX 03-3330-7585

東京営業部 (03-5364-5251) 神奈川営業部 (0462-77-0791)

E-mail: mi.watanabe@palsbk.co.jp

http://www.palsbk.co.jp

会員による自由投稿

米大手銀行に

40年勤務して④

昭31年卒 浅野 清



労使関係と定年退職までの道程

私が入行した1956年頃は、従業員組合はありませんでした。入行後5〜6年経て、東京支店・大阪支店・基地内軍用銀行各支店にUNIONが結成されました。

日本の労使関係とは習慣も考え方も根本的に違います。例えば、日本の銀行の場合は信用が第一に考えられています。銀行の看板も重要視されていると同時に、働いている行員も尊重し、労使共に協力をし業績を上げるように努力をしています。

さて、外資系企業(当行)の場合はどうでしょうか。何事もなく平穏な時は良いのですが、何か問題が起こった場合はUNIONと話すこともなく、一方的に行動に移して参ります。経営者の方針を貫く為には無理を承知の上で、次から次へとやって参ります。このような環境で仕事をすると、UNIONは絶対に必要であると考えられ結成されまし

た。当時、外資系の銀行は約77行あり、アメリカ系の銀行は約20行ありました。アメリカの銀行が圧倒的にトラブルが多かったようです。

チェース銀行在日支店の最盛期の頃は、基地内施設銀行の行員数は約360名、東京支店と大阪支店を合わせて約200名でした。基地の縮小と共に銀行もCLOSEDされ行員数も減って、最終的には大阪支店と東京支店に配転されました。

当時係争中の銀行は、チェース・マンハッタン銀行、シテイ銀行、アメリカン・エクスプレス銀行(閉店)、コンチネンタル銀行(閉店)、オランダ銀行、香港上海銀行等、裁判で勝訴しています。

アメリカ銀行にもUNIONがありますが、目立った争議もなく労使間で良く話し合っ解決しているようです。

当行の争議内容について2〜3例をあげてみましょう。

軍用施設銀行では基地縮小の為25名の指名解雇。解雇撤回まで5年間かかりました。UNIONは裁判で勝訴し、15名は希望退職に応募し、10名は東京支店に配転されました。降格・基本給の30%カットは東京・大阪・基地内支店のみ実行されました。

組合員全員が1階級から2階級降格され、私の場合は2階級降格され副主事となりました。非組合委員とASSISTANT-MANAGER以上の人は降格も減額もされませんでした。UNIONは東京労働基準監督署にも、銀行は撤回するよう要請をしました。東京地方裁判所にも不当労働行為で銀行に対し

訴訟を起こしました。日本の銀行では考えられません。

私は当行から住宅ローンをしています。私の生活設計と、ローンのスケジュールも提出してあります。給料とボーナスからの支払い全額も決定され、定年退職日もあってローンは完済される事になっています。減額された給料からローンを引かれると、残った金額では家族3人の生活は出来ません。私は1日も早い解決を希望していますと、裁判官に話しました。裁判官はこう話して下さいました。

銀行側には、銀行でするので困った方にお金を貸したらどうでしょうか。銀行はお金を貸すことに決まりました。

組合員全員が銀行からお金を借りて生活費に充て、銀行との闘争も続けました。銀行はUNIONを消滅させると同時に、給料の高い人を退職させたかっと考えられます。

銀行はASSISTANT-MANAGERをつくり、UNIONから脱退させて退職を促します。退職に応じない人は、机と電話だけが置かれた仕事は与えられません。自分で悩み苦しみながら退職した人も居ました。私は非組合員のひとか、ASSISTANT-MANAGERからも相談を受けましたが、最終的には本人が決める事と話しました。

同僚の中にもASSISTANT-MANAGERに推薦したので是非受けてほしいと話され、お断りした方もいました。私は入行した当時から役職名も大事な事ですが、もっと大事な事は妻子を養う事が最も重要であると考えておりました。いつも同僚と話しますが、チェ

ース銀行を卒業(定年退職)するのは大変な事です。優等生だけでは卒業する事ができません。定年退職を迎えずに退職された方も多数居りました。

銀行は希望退職を5回募集しましたが、組合員もASSISTANT-MANAGER以上の方も含め応募しました。通常の退職金+特別退職金が支払われますので、税金込みで当時7千万円以上(私を含め)の方が数十名居ました。退職金に魅力を感じて退職された方も多かったです。同窓会の皆さんの中にも、チェース銀行とUNIONとの争議をご存知の方もいらっしゃると思います。

私の友達からも「浅野さんの務めているチェース銀行との争議は解決しましたか?」と聞かれた事が度々ありました。争議を解決する為には、丸の内は大企業も多く、金融関係の会社も多いので、丸の内の仲通りを数十回デモ行進し、銀行の前で、解雇、降格、基本給の30%カットを撤回するよう訴えました。

全ての権限は本店が持つています。本店のOKが出るまでは大変な時間がかかります。解決するまでは5〜6年かかりました。銀行は5つの争議に敗訴し、組合に謝罪し、億の解決金を支払いました。裁判では勝訴いたしましたが、裁判所の勧めで和解をいたしました。

外資系企業で働く外国の方は、20ドルでも50ドルでも高い会社を選びます。次から次へと報酬の高い会社に就職をいたします。日本人とは違って自分自身の事(仕事・経験)を積極的に会社に売り込みます。日本人とは大きな違いが

あります。

公的な資金を受けているアメリカ銀行はJPモルガン・チェース銀行の債権担当者を引き抜いたため約600万ドル(約5億7千万円)の報酬を提示したと報じられました(読売新聞)。

この頃は日本に於いても転職される方が多く見られるようになりました。私達が就職した頃は終身雇用で、定年を目標にして働いて参りました。

平成21年の新入社員は、終身雇用を望む人が7割にも達したとのこと。不況での雇用不安が強まる中で安定志向の高まりと改めて感じて居ります。外資系企業の場合はYESかNOか、どちらかはっきりとしております。日本企業の場合はYESかNOかはっきりしない時もあり、理解が出来ない場合もあります。外資系企業の素晴らしいところは、平社員であろうと総支配人であろうと対等の立場で自分の考えを話すことが出来ます。

私は毎日、新聞に目を通します。経済関係の欄にモルガン・チェース銀行の記事が載っていますと懐かしく思います。日本の銀行も合併され5大銀行が誕生しました。アメリカの銀行も小さい銀行は破綻し大銀行が生き残るようです。

私の在職中にも色々な事がありました。人生は山あり谷あり、辛かった事、楽しかった事が走馬燈のように懐かしく想い出されます。私はチェース銀行に對し常に感謝の気持ちを持って居ります。私はチェース・マンハッタン銀行の銀行員であったことに誇りを持って居ります。

「ふるさと探訪ツアー 2009」に参加して

「ふるさととは遠きにありて思うもの／そして悲しくうたふもの：」に始まる室生犀星の詩は、犀星の生い立ちゆえか暗い望郷の念が歌われていて、私にとつて若い時から心惹かれる詩の一つでした。ところが、今回の「第2回ふるさと探訪ツアー」で遠来の皆さんに出会って、この「ふるさと」に対するイメージが一変してしまつたのです。その初めは母校の新装なった体育館に案内された時のことでした。



校歌斉唱

体育館の右正面に掲示された校歌を見て、ここで校歌を歌おうということになったのです。校歌の書は5回生で前宮城県教育長の鈴嶋清美先生が、新体育館の完成を祝って自ら書かれて寄贈されたものでした。皆は姿勢を正して声高らかに斉唱しました。目がしらを抑えておられる先輩がおられ、

「・・・高きを慕う我が胸の／理想の影と装うべく」と歌い終えても皆さんはそこに立ちつくしてしまいました。半世紀前に学んだ母校への思いが、走馬灯のように駆け巡つたに違いないのです。母校の目の前に拙宅があり、ましてふるさとを遠く離れたことも

ない私は、先輩諸氏の遠きにあつて母校を思つておられる姿に強烈に打ちのめされたのでした。

今回のツアー参加の動機は、今年度の本部同窓会総会で在京古高同窓会の高橋会長さんの第2回目のツアーを企画しているとの報告にありました。今年度本部副会長を仰せつかったこともあり、是非皆さんとご一緒したいと申込んだ次第です。

当日は快晴で、皆さんとは殆ど初対面でしたが、すぐ打ち解けられたのは、「母校」という偉大な力の賜物なのだと思います。

薬来山に向かう道々、先輩方が車窓に流れる風景に、目を細めて通学時のことを話される時はすっかり学生時代に戻つておられるようです。バスのあちこちで頓狂な声や爆笑があり、こんなに賑やかな雰囲気は修学旅行以来かなと思つたものでした。

「ふるさと探訪ツアー2009」参加者 (敬称略)

- 〔本部同窓会〕 佐々城 洋 (学校長) 伊藤祐造 (昭27) 星 明朗 (昭32) 渡邊義之 (昭34) 相澤 信 (昭35) 佐澤史朗 (昭39) 鈴木寿郎 (昭39) 諸岡敏裕 (昭46) 松ヶ根典雄 (昭51) 大山義男 (昭56)
- 〔在仙同窓会〕 千葉治郎 (昭40)
- 〔在京同窓会〕 前田浩五郎 (昭20) 門脇 健 (昭24) 同夫人 春田紘輔 (昭27) 佐藤 廣 (昭29) 門脇喜代志 (昭30) 塚田要三 (昭30) 横山 武 (昭30) 大友正行 (昭33) 高橋俊裕 (昭33) 同夫人 渡邊紘也 (昭33) 岩崎光任 (昭35) 千坂孝夫 (昭37) 佐々木恭次 (昭38) 上野正司 (昭39)

母校は創立以来114年になりますが、同窓会は13年後に作られましたので、今年は100周年になります。総会ではテレビで活躍中の佐藤宗幸さん(19回生)の記念講演を企画することになりました。これを機会に遠くにおられる

沢山の同窓生の方々には是非ふるさとをゆつくり訪ねてほしいと願つております。ツアーでお世話になりました皆さんに厚く御礼申し上げます。(S35相澤 信)

本部同窓会副会長

第2回「ふるさと探訪ツアー」は11月12・13日に行われました。東京を出る時は霧雨でしたが、福島辺りから明るさが見え、これなら今日は雨模様にならないだろうと気持ちも明るくなって来ましたが、

前回と今回に渡るツアーで感じた事は、故郷にはこんな所もあったのか！と知り、反省させられた事です。前回の新発見は、千葉周作ゆかりの斗笠稲荷神社、蕪栗沼、加護坊山、更に天平ロマン館、黄金山神社―この地で金が算出したとは夢のごとし。さて今回はどんな出会いが待って下さるのかと楽しみに参加しました。まずは母校へ表敬訪問して

体育館へ案内され、突然の校歌斉唱！の掛声で、校旗を仰ぎ斉唱。皆さんの声と思いが高らかに体育館に響き渡つた。その後校舎の内・外を見学。卒業して54年まさに今昔の感、ここに有りと身にしみた次第です。



古高にて

箱崎の「安国禅寺」で流暢に話される住職(同窓生)の講話を聞き、この地にこの歴史ありを知りました。鮎の里で昼食を摂つた後、バツハホールに寄つて、晩秋の薬来山登山へと向かう。初めはたかが5.53mと思いきや頂上への道は直進で、急斜面の箇所はロープや急階段があり、少し登っては振り返り、呼吸を整えては又登る。その内に下界も見え、美しい紅葉にも励まされ、無事頂上に登りつく事ができました。360度の視界と澄み切った空気を満喫して、ゆっくり下山の途に、

待つてくれたのは林泉館の温泉でした。疲れをほぐしての懇親会。これで初日は終了。

2日目は漆沢ダム、墨雪墨絵美術館へ、墨絵画家の河合墨雪師匠がカリフォルニアに河合美術学校を設け、又米国の大学で墨絵の初代教授に任命されたとの事。

亜炭博物館では亜炭採掘時の姿や展示の巨大な亜炭も珍しく感じました。鎌田記念ホールでの鎌田三之助村長の鹿島台品井沼干拓改良に私財を投じ、継ぎ接ぎの着物に草履履きで、住民を説得し、歩いて纏められた。今の世で見習つては！

「一の蔵」の蔵元で醸造方法などの説明を受けた後、広い工場を見学、試飲コーナーもありました。次の松山ふるさと館では横穴古墳、松山城跡やフランク永井展示室を見て、古川駅へ戻りました。(S30門脇喜代志)



林泉館にて

待ち望んだツアー。企画実施世話人の佐々木先輩から、校章美しくプレスした表紙付きオリジナル参加者用パンフレットを母校で受け

た。パラパラめくりながら、この行事は予想以上に楽しいものになると確信した。名簿作成が新鮮。それに見学先の紹介面では数々の旅行案内本やチラシのエッセンスを本格的なセンスで、地図やカラー写真込みで、更にコンパクトに集約されていたのである。

後には校歌・応援歌集も全面譜面付き。斉唱には便利。胸の思いも澄みわたる。

1泊旅行の1日目(木)は快晴。母校の新体育館ステージ右の木製校歌の掲額を見上げながら、誰言うともなく全員で斉唱。それから貸切バスにて団体行動。バスの乗り降り程良い人数。

仙台地区からは私一人の参加。実家が加美町。古川や大崎地区に帰省するのは楽しみで、マイカーで出掛ける。目的地へ直行が多い。しかし、今回のような企画ものでの体験学習は、胸が膨らみ、若返りを実感する。初見学先もあった。



薬菜山にて

移動のバスの窓外を見渡しながら小・中学時代の校歌を何度も思い起こし、学友達の顔と姿を思い浮かべた。「船形山の高らかに：」「(宮崎小)」「大崎平野末まで：」「(旧宮崎中)。青春の意気いつまでも。

宿泊会場は名峰加美富士と称される薬菜山の東懐の高台の林泉館。先輩方の若さあふれるスピーチやプロ級のカンツォーネの披露ありと多彩。大吟醸酒も舌と舞った。2日目は曇り空。見学は支障なし。イキなパンフを活用した後輩

の松ヶ根典雄・大崎観光交流課長の2日間にわたるガイドに拍手。(S40 千葉治郎) 在仙同窓会

50有余年ぶりに訪れた母校。当時の面影は正面玄関奥の古色蒼然とした表札のみ。想像をはるかに超えた豪華な設備とチツチャな教室で学ぶ、礼儀正しい後輩たち。頑なに拒んだ共学の壁が崩れ、母校は名花乱れ咲く学園となりました。

こうしてふるさと探訪2009がスタート。松ヶ根氏を始め、地元の方々による完璧なコーディネートで参加者は完全に極楽気分。少ない檀家とともに悠久の歴史文化を守り続ける安国寺住職の血のたぎった説法漫談で心を洗い、全員元気に「加美富士 薬菜山登山。7百段余の急峻階段に息を切らし、到達した山頂からは、美しく輝く大崎耕土が一望、彼方に松島の海までも。

夜、薬師の湯サウナで体内毒素を全て吐き出し、温泉で身を清めた後の楽しい宴は、何処から調達し

てきたか、郷土の銘酒の大行列と玄人はだしの芸能祭に全員、満悦。



薬菜山山頂にて

卒業当時は何もなかったふるさとに、パツハホール、墨雪美術館、縄文美術館、亜炭博物館、わらじ村長記念館、あげくは生まれたばかりのフランク永井展示室と文化施設の大ページェントにただただ驚愕、こうして無上の2日を過ごすことができました。感謝。

追。バスの中、第二校歌図南歌の図南とは何ぞやが話題になりました。

調査結果、老子道家の哲学者荘子の言葉で、あらゆる常識・因習・しがらみから己を解放し、気宇壮大な夢を抱き、未知の世界、未開の地に飛び込め。成功するしないは問題でない。活き活きと生きれば良しという思想のようです。

ただ、後に修身、徳教である儒教の影響が矮小化され、成功に重点が置かれたようです。(S33 佐藤公也)

150名が参加して
21年度古高同窓会総会
昭24年卒 門脇 健
(副会長)

古高同窓会の21年度総会は8月8日午後1時から、大崎市古川駅前大通の芙蓉閣に会員ざつと150名参加して開かれた。

校歌斉唱で幕を開け、会長の渡邊義之氏は、①新しい役員陣を整えたこと、②前年度から始めた同窓会員の年会費2000円納入は1600名に達し、財政面の安定化と共に、自主的な活動を可能にして来ていること、③各支部の組織化や活動面の連携も図られていること、④同窓の絆を深めて母校の更なる発展に資したい旨の挨拶を行った。

また、4月に着任した佐々城古高校長は、男女共学の学校の現状などを説明し、また、文武両道、質実剛健などの伝統力を高めるべく努力していることを述べ、同窓会の一層の支援・協力を要請した。

来賓として出席した高橋在京同窓会会長は、在京同窓会の多様な活動を紹介すると共に、在校生に頼らない新しい会費制度や活動に言及し、本部と呼応して活動して行く旨の祝辞を述べた。

議案審議に移り、20年度の事業報告、収入468万円、支出395万円、差引き残額73万円の20年度決算。「ふるさと探訪ツアー2009」を始めとする21年度事業計画、収入・支出472万円の21

年度予算などを承認・可決。また、別掲のような新役員陣を決定し、行動する体制を整えた。午後2時過ぎからは元コロンビア大使・バチカン大使だった鹿野軍勝氏(古高13回生)の「海外にいて感じたこと」に係わる講演が行われ、国際的知見に耳を傾けた。午後3時30分からは懇親会に移り、さんざんぼんざんの歓談・懇親となって同窓の親交を深め、「舟形おろしの雪消えて、大崎原頭かすみひき…」の図南歌の大合唱―万歳三唱をもって午後5時頃終了した。なお、在京同窓会からは高橋会長と門脇・曾根両副会長が出席した。



150名が参加して開かれた21年度古高同窓会総会

会員通信

94年6ヶ月、絵画と茶の湯と共に在り、元気で。87歳になりましたが元気でおります。幹事のかたがたにはお世話になっております。毎度有難うございます。(S7 杉下卯兵衛)

蛭雪43号、大変楽しく読みました。かつての古中時代、なつかしく思い出して居ります。今後の一層の御発展をお祈りいたします。(S14 岩城有信)

急に足の筋肉が衰え、ヨチヨチ歩きになりました。会報で木村さんの母校訪問の記事を拝見して驚いたのは正門前の道路の状況です。私の頃は車は全然通らず、歩行者も殆どありませんでした。授業中に正門前の桜並木から聞こえてくる郭公の鳴き声を聞きながらウオケと居眠りをしていました。(S16 福島光男)

17)旧制古川中学の大先輩勝勝夫氏(平成17年10月逝去98歳)の創設された「経営労務クラブ」の遺志を継ぎ、会長として、中堅企業の経営・人間関係の研究・情報交換をしています。(S7 月に東京中央口1タリークラブの会長ノミネートになります。(S18 豊嶋松三)

6月初め簡単な手術を行い自宅療養中です。ここ10年間の環境保全活動をまとめたい。S18)フジ出版事務所会長(渡辺三男)82歳になりましたが、柏江市の万葉名歌北川広場に「万葉をしのぶ乙女像」たまたがわ(一)を、入選や建立を実現したのは、有難く思っています。これも古中時代の自然環境や恩師・友人たちのお陰と感謝しているのを改めて申し上げます。(S19 加藤 弘)

南相馬市社会福祉協議会長として、分野で頑張っております。趣味の福根甚句で愛好者を30名募り、月2回ずつ稽古に励んでおります。(S22 門馬秀夫)5月15日鳴子温泉「ますや」で旧古中昭和21、22年卒業の同窓会が1泊して行われ、私も参加して、旧交を温め親睦を深めて参りました。(S22 諸岡久男)

いづくかのボランティア事業に精を出しています。年齢相応の体調管理にも留意して参ります。(S24 三浦澄能)岩山出身の会・東京有備会の事務局を担当して何年になるのか自分でもわかりません。何か教示いただければ幸いです。(S27 氏家明朗)

散歩等、健康第一に過して参ります。「蛭雪」(在京同窓会会報)で諸兄の活躍ぶりや母校の近況を知るのが楽しみです。月一回、郷里(小野田)の会社「出動」しています。趣味で始めた鎌倉彫も28年続けています。(S28 早坂明久)

会費についてご検討をお願いします。(1)2)同窓会本部の一元化(卒業後50年納入など)会費も納入する。(S29 関口克己)町の陶芸講座を指導しています。町の歴史講座に参加し、地元を調べる予定です。(S29 湯本良郎)

6月3日北区の河川敷で30年卒の2期生が加わり2組になって楽しさも倍増である。5月20日、21日は松島に泊って、利府ゴルフ倶楽部で大学時代同じ寮でゴルフをやったあとの19番ホールもまた、潤滑油の役割りを果たしている。(S30 木村哲彌)

回希を過ぎ、仲間を羨しつづつ、毎日常しみに「蛭雪」を拝読しております。技術論文の抄録作りのアルバイトも3年目に入りました。何度読んでも意味の掴めないものも中々、すいすいと読めるのは、日本人の論文です。日本人は英語が不得意と云われるが、それは会話のことで、文章にかけては世界のトップクラスと思う。日本人の律義な個性がそうさせると思うし、今後共々うあつて欲しい。(S30 高橋 広)

横浜生まれで20年4月1日に緑蔭疎開で宮城県に引き毎日空艇で逃げまわつて、毎日の生活が陸羽東線に乗換え、大崎平野に入った。30年卒の卒業式におどろきました。50年、緑は薄くなるばかりです。生じた故郷でないという事が懐かしさを感じないのでしょうか。(S30 山中廣志)

先端科学技術研究センターに研究室をいたいただき、ご自身が首謀の福島智教授と一緒に、バリアフリー分野の研究をしております。(S35 東大 大沼浩紀)退職後2年が経ち、元同僚達と時々、下町散策をしたいと思っております。(S35 今野正弘)

政府(通産省等)関係の依頼で、開発途上国の食品産業の育成(工場管理・経営・品質管理・技術的改善等)の支援を行っている。タイ、インドネシア、インドネシア等、短期出張しております。(S35 今野正弘)

自由(不自由な)生活満喫、暮らさず10年余となる。小人閉居して不善を為す。生来取柄の自信の健康に窮りを為す。今中、先取の動機で昨年10月に目黒区のシルバ人材センターに入会した。これ迄、月2、3日ずつであった任事がこの4月から一気によ20日程度に、甘やかしてきた身体には応えるがジム通いと同様、健康管理の一環と考え続けて行く所存。(S36 高橋幸裕)

「蛭雪」は古高の現状を良く伝え、懐かしさも加わり、楽しく読んでいます。「会員通信」は皆様の頑張りと現況がハイライトに富み、大変興味深く全部読ませてもらっています。今後、多くの皆様がごぞつて本欄に投稿され、「蛭雪」を一層充実・中広いものにする事を切に祈っております。(S36 長井 清)

本年6月、シズン電子株式会社取締役・相談役を退任予定です。すぐ感謝のため、四国遍路を執行する予定です。(S36 柳澤 敬)

新型インフルエンス対策に追われる毎日。今後はますます病原性が強くなる可能性があり、今のうちからそれとそれのBCPを確立していただきたいと思えます。(S38 柳澤 敬)

「S38 厚生労働省那覇検疫所(阿部重人)アメリカに於いて利益追求に走り過ぎたジケてしまった。先人の知恵にないが、貧しくも無く富もせず」の生活に感謝して生きるのが賢い生き方と再認識するこの頃です。最大の富は健康かと思えます。(S38 今野丈夫)

私達の同期の人達の名前が同窓会役員の中に出てくるたびに一度出席したいと思っております。死ななまで現役と思っております。仕事のかたわら、博物館のボランティア(百舌鳥古墳群の解説)をやっています。(S38 中井洋)

仕事も継続して、学生相手に週5日出勤しています。趣味の馬拉ソンは持て大目にして参ります。(S39 文教大学 笹原誠一)

事務局の方々、大変ご苦労様です。つくば市にて元気に働いています。(S41 動物衛生研究所 高橋秀之)

上京してから30数年が経過しましたが、今同郷の方々と懇親の機会が少なく、今後同郷の方々に参加させて頂き、懇親を深めさせていただきます。(S46 柳澤 敬)

私がレギュラー出演しております「NHK成田博之君(S62年バリトン歌手)達の「ザ・ジェイ」が初お目見えでした。成田君が「ハリウッド」ニコニコ笑って来ましたら、彼もこちらに気付いて「先

心よりご冥福をお祈りいたします

- 及川 八郎氏 (昭8年卒)
飯川 昌男氏 (昭16年卒)
佐藤 幸雄氏 (昭18年卒)
照井 重雄氏 (昭20年卒)
今野 敬氏 (昭24年卒)
伊藤 隆俊氏 (昭25年卒)
相澤 清氏 (昭27年卒)
高橋 馨氏 (昭37年卒)
平成21年7月30日

編集後記

同窓会費について「本部同窓会費との一元化を」というご意見(会員通信)がありました。在京同窓会の立場としても二重徴収には疑問を持っており、今後何かの連携が必要になってくると思われます。在京同窓会も400名近い会費納入者のご協力がないと会の存続を維持できません。同窓会設立100周年を機に、解決すべき課題だと思っております。(曾根)

佐藤 啓三 (S40年卒 中新田) 中小企業診断士・ISO審査員・エネルギー管理士
KGGK ISO (品質・環境)・技術・経営 コンサルティング・グループ 株式会社 経営技術機構 所属
〒105 東京都港区虎ノ門5-3-20 仙石山アネックスビル1階-0001
TEL 03-5425-2491 FAX 03-5425-2492
自宅 〒241-0004 横浜市旭区中白根2-22-19
携帯 090-1438-9132 E-mail:FZN04730@nifty.ne.jp

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート
電子納品作成支援 おまかせください!
代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)
株式会社 ケーヨー http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp
本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167